

## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日  
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30 ~ 13:30  
例会場 刈谷市新栄町 3の26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL <0566>22-2111  
FAX <0566>25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 近藤 純子  
幹事 加藤 大志朗  
会報委員長 杉浦 守康

2025 ~ 2026年度 国際ロータリー フランチャスコ・アレツォ 会長テーマ

UNITE FOR GOOD よいことのために手を取りあおう

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3297回（当年度第17回） 2025年（令和7年）12月18日（木） 第3週

## クリスマス家族会

於/名古屋マリオットアソシアホテル

## 1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

17:15 受付開始

18:00 点鐘……………〈会長：近藤 純子〉

開会宣言

ロータリーソング斉唱

……………それこそロータリー

ゲスト紹介

……………米山奨学生 ゲエン コン カン さん

会長挨拶並びに会長報告

幹事報告

出席報告

委員会報告

ニコニコボックス報告

次年度理事・役員紹介

点鐘

18:15 閉会宣言

20:00 閉会の言葉……………〈司会〉

## 出席

会員総数 95名 出席免除 22名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 77名  
欠席 10名 出席率 87.01%  
前々回（12/1）の修正出席率 100%

## 会長報告

1) 12月11日(木)、名古屋ゴルフ倶楽部和合コースにて、  
12月度ゴルフ同好会が開催されました。グロス85、  
ネット69.8で岡田行永会員が優勝されました。

## 12月度刈谷 RC ゴルフ例会

令和7年12月11日(木)

於：名古屋ゴルフ倶楽部和合コース

成績	氏名	G	H	N
優勝	岡田 行永	85	15.2	69.8
2位	磯部 一智	85	14.0	71.0
3位	新美 大輔	87	15.2	71.8
B B	山高 真悟	98	15.2	82.8

## 2. クリスマス家族会……………〈司会：親睦活動委員会〉

18:20 開会挨拶……………〈副会長：今村 順〉

~18:25 乾杯……………〈直前会長：内藤 昇〉

18:25 ~ 歓談

18:40 新会員・家族紹介

~19:00 米山奨学生紹介

19:20 ~ アトラクション

19:40 ~ サンタから子供たちへプレゼント

19:55 ~ 手に手つないで

……………〈ソングリーダー：今村 順〉

19:58 お礼の言葉

……………〈親睦活動委員会委員長：澤田 昌秀〉



## ゲ ス ト



米山奨学生 ゲエン コン カン さん

## 幹 事 報 告

- 1) 北野達生会員が退会されましたので、会員数を95名と訂正致します。

## 会 長 あ い さ つ

近藤 純子



メリークリスマス！

皆さま、本日は年末のお忙しい中、名古屋まで足をお運びくださり、クリスマス家族会にご参加頂き、誠にありがとうございます。ご家族の方もたくさんご参加頂いておりますので、とても賑やかな家族会になり、

嬉しく思っております。

クリスマスですので、少しだけ「サンタクロースさん」についてお話ししようと思います。ここ日本で、私たちがイメージしているサンタさんは赤い服を着ていますが、実はこれは、アメリカで広まった姿だそうで、世界には少しずつ違ったサンタさんたちがいるようです。

例えば、イギリスのサンタさんは、伝統的には、「ファーザー・クリスマス」と呼ばれており、細身で長い緑色のガウンをまとった、少し神秘的な冬の精霊のような存在でした。

ロシアでは、「ジェド・マロース」と呼ばれている青いロングコートを着た、荘厳で神秘的な「冬の王様」のようなおじいさんが孫娘のスネグラーチカと一緒に新年に贈り物を届ける習慣があるそうです。

サンタさんの故郷と言われているフィンランドのロヴァニエミという町には、サンタクロース村があって、1年中サンタさんに会うことができるそうです。もともと、フィンランドでは、サンタさんは「ヨウルプッキ」と呼ばれていて、森の中に住む“冬の賢者”のような存在だそうです。“プッキ”は「ヤギ」という意味で、昔は“ヤギの姿をした冬の精霊”がサンタさんのルーツだったと言われています。

そして、オランダでは、「シンタクラス」と呼ばれており、赤い司教服をまとい、蒸気船に乗って港に到着するそうです。今でも毎年11月になると、シンタクラスさんが海岸沿いの町に上陸し、馬に乗ってパレードをする様子を、国営テレビで生放送するほどの大イベントになるそうです。

実は、アメリカの“Santa Claus”という名前は、このオランダのシンタクラスがルーツと言われており、このシンタクラスの名前が変化して、アメリカで「サンタクロース」と呼ばれるようになったと言われています。

呼び名も姿も習慣も違うのに、どこの国のサンタさんも「子どもたちに幸せを届けたい」という気持ちは同じようです。それは、私たちが大切にしている“思いやり”や“奉仕の心”にも重なります。ロータリーの精神である“Service Above Self（超我の奉仕）”とも通じるものがあります。見返りを求めず、誰かを喜ばせたいという気持ちが、人々の心を温かくし、世界を少し優しくしていく…そんな共通の願いを感じます。

どうか今宵ここにいらっしゃる皆さまが、それぞれの“サンタさん”を思い浮かべながら、ご家族の皆様やロータリーの友人たちと、心温かい時間をお過ごしくださり、笑顔になって頂ければ幸いです。

本日は2025年最後の例会です。最後に、この1年の感謝の気持ちを添えて、ご挨拶とさせていただきます。

メリークリスマス！ ありがとうございました。

## ク リ ス マ ス 家 族 会



